

# 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の対策

敦賀市立中郷小学校

4月17日(火)に全国小学校6年生を対象にした「教科に関する調査」と「質問紙調査」が実施されました。ここでは、その結果分析から、本校児童の特徴についてお知らせいたします。これらの結果をもとに今後の指導改善に取り組み、知・徳・体の向上を目指していきますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

## 【問1】

【国語】 ○良好であった点 ●課題となる点

○日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使うことができている。

**イ**

4 3 2 1

同級生に心を打たれることなく相談する。

相手に失礼のないように心を打たれる。

地域の発展のために、長い間、心を打たれる。

オーケストラの演奏を聞き、心を打たれる。

**ア**

4 3 2 1

あれこれと心配する。

感動する。

遠りよする。

一つのこと集中する。

【カード】

心を打たれる

意味： ア

使い方： イ

**6**

北村さんは、読んでいた本の中に出てきた表現の意味と使い方をカードにまとめています。北村さんが書いた「カード」の「ア」「イ」の中に入る内容として最も適切なものを、あとの1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

## 【問2】

**7**

石橋さんたちは、地域の人から仕事についての話を聞いています。次の「話を聞いている様子の一部」を読み、ア・イに入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【話を聞いている様子の一部】


石橋さん みなさん、池田さんがア。今日は、おとうふ屋さんの仕事について、たくさん教えていただきました。池田さん、お願いします。

池田さん みなさん、こんにちは。

う(池田さんの話を聞く)。

石橋さん 池田さん、ありがとうございます。池田さんに質問のある人はいますか。

高野さん おとうふ屋さんは、朝早く起きなければならぬので、とても大変だと私の母がイのですが、池田さんはどうですか。

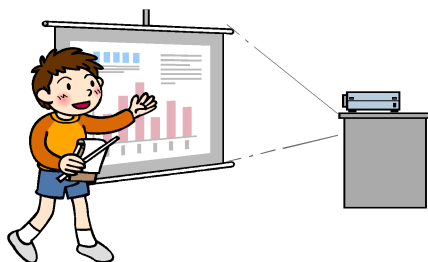


○相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができている。

○漢字を文の中で正しく使うことができている。

## 今後の授業への対策

- 目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと。
- 文章の中から必要な情報を読み取り、その条件に沿って自分の考えを書くこと。
- 話し手の意図を捉えること。
- 司会の役割を正しく理解すること。



- ・読み書きの練習を丁寧に行い、基礎的な力の定着のため、きめ細かな指導を行います。
- ・多くの資料の中から、指定された条件に従って情報を読み取り、それに対する自分の考えを表現する活動に取り組みます。
- ・友達の発表を聞き、その発表内容を他の子が復唱する機会を多く持ち、話し手の意図を捉えながら、聞こうとする態度を身につけさせます。
- ・授業や学級会等で司会の役割を全員が経験できる場を設定します。

**【算数】** ○良好であった点 ●課題となる点

○割合を求めることができている。

- 円周率を求める問題や百分率を求める問題等、求めるものが明確に示されている問題について極めて良好である。
- 幾つかの情報の中から数量関係を見つけ他の数量や形・条件等でもその数量関係が成立するかを追求したり、興味を持ったりする等、論理的に説明しようという意識に高まりが見られる。

**【問 4】**

**3**

しおりさんたちの学校は、「進んであいさつをする」と「本をよく読む」の2つのめあてに取り組んでいます。しおりさんたちは、7月と12月に、2つのめあてについて全校児童625人に対してアンケート調査をし、その結果を下のグラフに表しました。しおりさんは、グラフからわかることを2つのメモに書きました。

**2つのめあてについて「取り組んだ」と答えた人数**

めあて	7月	12月
進んであいさつをする	約520人	約570人
本をよく読む	約350人	約550人

**メモ1**

- ・「進んであいさつをする」約570人
- ・「本をよく読む」約550人

**メモ2**

- ・「進んであいさつをする」約50人
- ・「本をよく読む」約200人

えりかさんとまさるさんは、しおりさんが書いたメモについて話し合っています。

**えりか**

メモ1を見ると「進んであいさつをする」のほうが人数が多いです。でも、メモ2を見ると「本をよく読む」のほうが人数が多いですね。

**まさる**

メモ1では、「進んであいさつをする」のほうが人数が多く、メモ2では、「本をよく読む」のほうが人数が多いのは、なぜですか。

**しおり**

メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてちがうことに着目して書いているからです。

しおりさんが言うように、メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてちがうことに着目して書かれています。

(1) メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれていますか。それぞれ着目していることを、言葉や数を使って書きましょう。

●グラフが表していることを読み取ること。

- 式の意味を言葉で説明すること。
- 資料を分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり、読み取ったりすること。
- 敷き詰め模様の中から、その構成要素や性質を基に、一つの点の周りに集まった角の大きさの和が  $360^\circ$  になっていることを言葉や式を用いて記述すること。

**今後の授業への対策**

- ・式の意味を言葉で説明する活動を増やしていきます。  
例：「混み具合というのは、同じ面積の中に何人いるかで表されるので、人数を面積で割ればよい」 $16 \text{ (人)} \div 8 \text{ (m}^2\text{)} = 2 \text{ (人)}$
- ・表やグラフ等に整理して考察し表現する活動を増やしていきます。また、立式後に、その式の根拠となる図やグラフ等をかいて説明する活動を増やしていきます。
- ・発展問題に自力で取り組む活動を設け、自力で解決する喜びを味わえる経験を増やしていきます。

**【問 3】**

**8**

ある会場に子どもたちが集まりました。集まった子どもたち200人のうち80人が小学生でした。小学生の人数は、集まった子どもたちの人数の何%ですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 0.4 %  
2 2.5 %  
3 40 %  
4 80 %

○人体に関する問題や流れる水の働きに関する問題、電流の向きと回路のつなぎ方に関する問題、粒子に関する問題等の知識・理解ができています。

【問6】

水の量を変えた実験

○地面のけずられ方について詳しく調べるために、みその曲がっているところの外側と内側に3本ずつ棒を立てる。  
○1本のペットボトルの水を流したときと、2本のペットボトルの水を同時に流したときの棒のようすを調べる。

実験結果

1本のペットボトルの水を流したときの棒のようす	2本のペットボトルの水を同時に流したときの棒のようす

(3) 上の実験の結果から、川を流れる水の量が増えると、川の曲がっているところの外側と内側の地面のけずられ方は、どのようになると考えられますか。下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを実験結果の「水の量」と「棒のようす」がわかるようにして書きましょう。

- 1 外側も内側もけずられる。
- 2 外側も内側もけずられない。
- 3 外側だけがけずられる。
- 4 内側だけがけずられる。

【問題】 食塩水の食塩は、蒸発するのだろうか。

実験方法

1gの食塩に水を加えて10gにした食塩水すべてを蒸発皿に入れる。	実験用ガスコンロで1分間加熱し、冷ましてから重さをはかる。水分がほとんどなくなるまで、くり返す。	日なたに置いて蒸発させ、1日ごとに重さをはかる。
----------------------------------	--	--------------------------

実験結果

<加熱して残った物の重さ>	<日なたで蒸発させて残った物の重さ>
<p>水分がほとんどなくなった</p>	<p>5回加熱した物を日なたに置いた</p>

ゆかりさんは、実験の結果からいえることを、下のようにまとめました。

【実験の結果からいえること】 水にとけた物は蒸発しない。

この実験の結果からそこまでいいのかな？ まもるさん

(4) ゆかりさんが【実験の結果からいえること】としてまとめた内容は、  
【問題】に対するまとめとしてふさわしくありません。  
ふさわしいまとめになるように書き直しましょう。

●問題に示された結論の、論理的な矛盾を指摘すること。

- 複数の情報を関連づけながら、分析して考察すること。例：上流側の雲の様子や雨の降っているところと下流側の川の水位の変化から上流側の天気と下流側の水位の関係について説明すること。
- 適切な実験方法を身につけること。

今後の授業への対策

- ・予想→実験→考察（まとめ）の授業の流れを大切にし、実験を行う時に「なぜ、そのような実験をするか」を理解させた上で実験を行うように努めます。
- ・もし、実験がうまく行かなかった時に、その理由が説明できるようにしたり、他の要因を探そうとしたりする科学の目を養っていきます。

※問題が「食塩水の食塩は～」だから、結果から言えることも「食塩水の食塩は～」で答えるべき、[水にとけた物は～]と主語が変わっているのはおかしい等を指摘することができない。

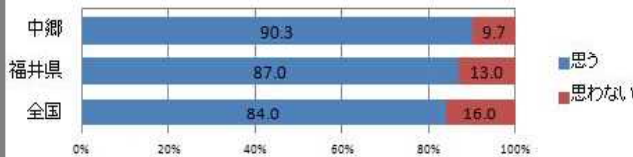
## <質問紙に関する結果から>

「自分には良いところがある」と回答している児童が多いです。自己肯定感を高く持ち、物事に取り組む意欲が高い児童が多いと感じております。また、毎日朝食を食べる、決まった時刻に起床・就寝する等の基本的な生活習慣ができています。また、ご家庭で宿題をしたり、授業の予習・復習に多くの児童が取り組んでいることもわかりました。気比中校区の共通課題である家庭学習の充実に向け今後も保護者の方との協力を進めていきます。

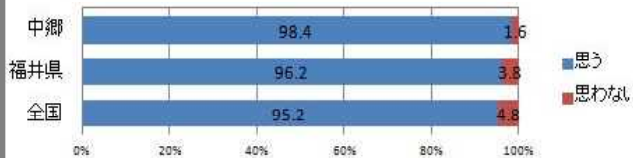
算数や理科の授業内容はよくわかると回答する児童は多いのですが、「算数や理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか」「将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいか」「社会や自然のことがらに不思議だな、おもしろいなと思いますか」等の質問に、否定的に回答する児童が多いのが気になります。本校児童の素直で真面目な点は長所ではありますが、色々なことに興味関心を持ち、能動的に行動できる児童が増えるような取り組みを充実させます。

○良好であった点

自分には、よいところがあると思いますか



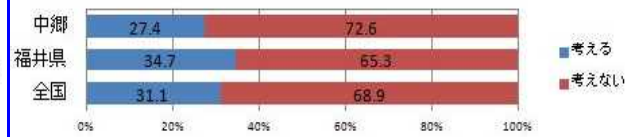
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



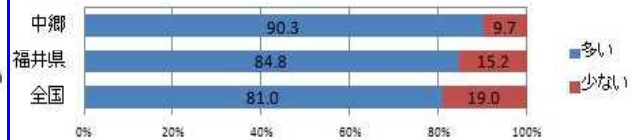
「人の役に立つ人間になりたいと思う」「将来の夢や目標を持っている」児童が多く、これも喜ばしいことです。道徳や総合的な学習の時間、読書体験、様々な体験を通して、自分の将来について考える機会が増えてきたと考えられます。今後も引き続き、豊かな心を育むために人と関わる学習や生活体験の場を充実させていきます。

●課題となる点

理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



放課後に家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをして過ごすことが多いですか



放課後や週末に「家でテレビやDVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている」と回答している児童が多いです。携帯電話やスマートフォンを持っている児童が増えていますが、「家の人と約束したことを守っている」と回答する児童は多いと言えません。ルールを守って利用できる子になるように家庭と協力していきます。

今後も教職員一同力を合わせ、「心豊かで たくましい子の育成」に努めてまいります。